

和泉小学校における初動対応シート

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	二次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・ 引き渡し	防災拠点機能 <学校に留まっていられる場合>
大地震発生・大津波警報発表	課業中	地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手 	地震が収まったら <ul style="list-style-type: none"> ◎校長は、校長室(職員室)で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校庭へ ・デジタル防災無線を携帯(設置校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当 ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 	校舎倒壊・火災発生等	<ul style="list-style-type: none"> ◎安全な場所への避難指示 ・被害状況確認と最新情報を入手 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人数と安否確認 児童生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・負傷者の確認と手当 ・児童生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校教育事務所へ連絡(第1次報告に変更がある場合) ◎区災害対策本部へ連絡 ※デジタル防災無線、FAXの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎統轄本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力
	教職員		<ul style="list-style-type: none"> ◎的確な指示 ・「頭部をまもれ」 ・「机の下にもぐれ」 ・「机の脚をもて」 ・「安心するような声かけ」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎校庭へ避難誘導 ・名簿・引き渡しカード・ホイッスル等の携帯 ・配慮を要する子どもへの対応 ・トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認 	災害対策本部設置 救出・救急医療班活動開始 消火・安全点検班活動開始		<ul style="list-style-type: none"> ◎校舎または体育館へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示 	救出・救急医療班活動継続 消火・安全点検班活動継続	<ul style="list-style-type: none"> ◎役割分担に従って行動 ・学校、地域の被害状況把握(安全な場合は通学路等も...) ・ライフライン、公共交通機関の状況 ・負傷者への対応 ・危険箇所の確認と立入禁止の表示 ・不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎引き渡しの手順 ・メール配信による連絡 ・未登録者用緊急連絡網 	地域防災拠点マニュアルに沿って協力開始
	児童生徒		<ul style="list-style-type: none"> ◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る 	<ul style="list-style-type: none"> ◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 ◎「おかしも」の約束 おさない かけない しゃべらない もどらない 	◎施設被害状況の把握 ◎危険箇所の立入禁止措置		<ul style="list-style-type: none"> ◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きそのまま移動 ・教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動 	<ul style="list-style-type: none"> ◎負傷者がいる場合は助け合う ・勝手な行動をとらない ・私語をつつしむ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き
各学校の特記事項			<ul style="list-style-type: none"> ◎雨天時や被災状況によっては、一次避難場所を変更する。 ・雨天、荒天時や気象の厳しい時は体育館へ避難(担当教諭は、体育館へ避難するための安全確認) ・本部は被災状況を確認し、校舎にとどまるかどうか判断・指示 			<ul style="list-style-type: none"> ◎帰宅困難者が比較的少ない地域であるため、できるだけ近隣の保護者が引き取ることができるようにする。 ・緊急時に備え、近隣の家庭同士が助け合える関係づくりを呼びかける。 ・保護者には、引き取りカードの協力を求め、担任はその内容の確認、把握に努める。 					